

「ノイズ映像検査」を受けられる患者さんの情報の 研究利用についてのお知らせ

この度、井上眼科クリニックでは、「ノイズ映像による視野欠損の自覚的検出の最適化のための研究」を実施することになりました。

ノイズ映像検査とは、

種々の病気で視野欠損があっても自覚症状がない患者さんが多数おられます。このような患者さんでも、ノイズ映像を観て頂きますと、視野欠損部分に一致して、「ちらつきがない、ちらつきが少ない」、「曇って見える」、「黒っぽく・灰色・グレイ・白っぽく見える」などの異常部分があることに気づくことができます。この検査方法を「ノイズ映像検査」といいます。

この研究の目的は、視野障害のある患者さんが、どのようなノイズ映像で視野欠損を自覚しやすいかを調査することです。

この研究のため、令和1年12月から令和2年5月までに、当院で診療させて頂いた患者さんの調査を行います。対象となるのは精密視野検査を受けた患者さんで、視野欠損の自覚症状の確認のために、ノイズ映像(コンピュータグラフィックスによるノイズ映像とアナログノイズ映像の両方)を観て頂いた患者さんです。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報(診断・治療内容・予後の状況等)のみです。データ上ではすべての患者さんは匿名化(任意の識別番号を付与)されており、患者さんのお名前、生年月日、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担が生じることはありません。

この研究を実施するにあたり、倫理的妥当性と科学的合理性が日本医師会倫理審査委員会で詳細に検討され問題のないことが確認されました。

- ・日本医師会 倫理審査委員会審査終了日 : 令和2年5月15日
- ・日本医師会 倫理審査管理番号 : R1-21

個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

今回の研究に同意できない場合には、データの使用を拒否することができます。データの使用を拒否したい、あるいは、具体的な研究内容を知りたい方は、下記の問い合わせ窓口まで遠慮なくご連絡下さい。

令和2年5月

井上眼科クリニック

研究責任者:院長 井上 新

連絡先:072-233-1200